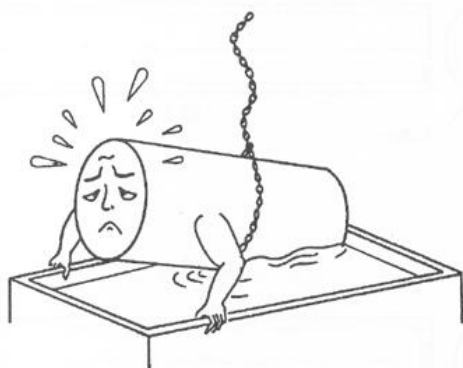


鉄鋼製品の形状と溶融亜鉛めっきの品質との関係

めっきされる鉄鋼製品は形状によって、めっき外観、加工コスト等に大きく影響することがあります。密閉構造の製品では、作業の安全上の問題で溶融亜鉛めっきができないという問題もあります。よく似た形状の鉄鋼製品でも溶融亜鉛が流れやすいかどうかによって、めっき外観に著しい差が生じます。

ここでは良い品質の溶融亜鉛めっきを施すために、代表的な形状を例にあげて次頁以下で説明します。設計および製作の段階において御参考にしていただければ幸いです。



密閉構造では浸漬できません。

溶融亜鉛の比重は約 6.6 であるため、密閉構造のものや内部に空気のたまる部分があると浮力が働いて亜鉛浴に浸漬することが困難となります。



浸漬には開口部が必要です。

適切な位置に、空気がでるため、亜鉛が流入するため、そして亜鉛が流出するための、孔や開口部がいます。

爆発する恐れがあります。

密閉構造のものや、密閉部分のあるものを無理に亜鉛浴中に浸漬すると、万一溶接不良などで内面にめっきの前処理液など水分が浸入していた場合には爆発をおこす危険性があります。

